

PFLAG/Los Angeles

私たちの子どもについて

新たなる理解への道が開かれた。世の中の偏見をなくし、ゲイ・レズビアンである子どもたちが尊厳を保ち、尊重されながら生きてゆける安全な環境作りに、私たちはその努力を惜しまない。

知識を分かち合い、恐れという束縛から解放され、援助の手を差し延べ、人間であることへの探求に皆さんが参加されますようご招待いたします。

ここで使われる「ゲイの人」という言い方は男性、女性ともに当てはまります。

ゲイの人はあらゆるところに

世界人口全体の10%がゲイ・レズビアン、またはバイセクシュアルです。^[1,2] 文化、人種、経済状態にかかわらずゲイ・レズビアンの方は地球上いたるところに存在します。例えば、アイオワ州デモイン市の人口は19万4千人ですが、そういった規模のコミュニティにはおよそ2万人のゲイの市民が存在します。このゲイの人口に家族を加えるとその数は約5万人となります。

特定のステレオタイプ（典型的ゲイというイメージ）にぴったり当てはまるゲイの方もいないことはないのですが、そのほとんどはマジョリティのヘテロセクシュアル（異性愛者）の人と見た目も身のこなしも変わりません。外見やマンネリズム（話し方、身振り手振りなど）というものは性の指向とは全く関係がないのです。

例えば、ヘテロセクシュアルの人の中でも男性っぽい女性、女性っぽい男性がいるというのは皆さんご存知のことでしょう。

ゲイの人は健全な人

ホモセクシュアリティ（同性愛）そのものは、ヘテロセクシュアリティ（異性愛）と同様に、精神的、感情的疾患ではありません。^[3]

例えば、性的行動に関してどのくらい興味があるかは、ゲイの男性もレズビアン⁴の女性も、ヘテロセクシュアルの人と同じく、多いわけでも少ないわけでもありません。[4]

ヘテロセクシュアルと同様、ゲイの人にも多種多様な生き方があり、パートナーとの長期的かつ安定した関係を築き上げ、仕事をし、買い物をし、テレビを見たり、投票をしたり、税金を払ったりしています。[5]

ゲイの人は自然にホモセクシュアル（同性愛者）

人間の性の指向がどのように決まるかは知られていません。[6,7] PFLAG では過去20年間、ゲイ・レズビアンの子どもを持つ何千という家族と話をした結果、以下のようなことが分かりました。

- ホモセクシュアリティとは人となり⁸に根ざしたもので、なるとか、ならないとか、それを自分の意志で選択できるものではない。人を好きになるという感情を選ぶことはできない。唯一できることといえば、自分の性の指向を正直に表に出すか、クローゼットでいる（隠しておく）かの選択しかない。
- レズビアン・ゲイの人が自分の性の指向を隠さなくても安心していられる世の中になれば、その分だけ不幸な結婚が少なくなる。
- ゲイ・レズビアン⁹の人は、かなり幼い頃から自分が他の子どもとは違うということに気づいている場合が多く、自分の性の指向を意識し始める時期は思春期から青年期が一般的である。
- 人から影響を受けたり、教えられたりしてゲイ・レズビアンになる子どもはいない。
- 学校、その他の場所でホモセクシュアリティが「うつる」とか「勧誘されるのでは」といった家族の恐れには何ら科学的根拠がない。
- ゲイの人がヘテロセクシュアルになろうとどんな努力をしても、失敗に終わる。[9,10]
- 全米医療協会は「性の指向は裁くことなく認識すべき」と提唱している。
- 世の中には自然に同性に惹かれる人もいるというのが現実である。ゲイ・レズビアンである子どもたちを社会が認識し、受け入れる時期が今ここに来ている。

ゲイの人は家族の一員

およそ4世帯に1軒の割りでゲイのファミリーメンバーのいる家族が存在します。レズビアン・ゲイである子どもたちにも、誠実な親子愛、兄弟愛で結ばれた父母、祖父母、兄弟

姉妹、従兄妹、おば、おじ、甥、姪がいます。

家族がゲイのファミリーメンバーを拒絶したとすれば、それは家族のメンバー、親戚全体の一人一人にとって悲劇となります。

全米に網羅された PFLAG のヘルプライン及びホットラインでは、プライバシーを尊重した、思いやりのある環境の中で、同様の経験を持つ親たちに質問や相談をすることができます。

ヘルプラインやホットライン、ラップやディスカッションのミーティングが家族とゲイの子どもたちをつなぐ架け橋となり、家族が一生離れ離れになったり、生涯傷ついたりするのを未然に防ぐことも珍しくはありません。

ゲイの人は子どもを敬う

レズビアン・ゲイの人は立派に子どもを育てる良い親となります。ゲイ・レズビアンの両親を持つ子どもたちは心理的、社会的、性的な発育上、ヘテロセクシュアルの両親を持つ子どもたちと何ら変わりはありません。[11]

ゲイの男性、レズビアンの女性が子どもの虐待に関わることはごく稀で、アメリカでは子どもに対する性的虐待の90%はヘテロセクシュアルの男性（父親、義父、祖父、おじ、内縁の夫など）がその加害者となります。

ゲイの人は責任感のある社会の一員

私たちのゲイの息子・レズビアンの娘は教育レベルも千差万別で、教師、看護師、医師、牧師、事務員、芸術家、会計士、都市開発者など、ありとあらゆる職業に従事しています。このように私たちの子どもは社会に重要な貢献をしているのです。

ゲイの人は差別に直面する

家族の一員であるレズビアン・ゲイのファミリーメンバーは今でも悪質で卑劣な攻撃を受けています。最近のことですが、全州に渡る州民発案により、地域または州自治体による

ゲイの人々に対する市民としての被保護権を制限または拒否しようとする組織的な動きがありました。レズビアン・ゲイの人々には雇用、子どもの養育権、住宅などに関し、法律上の保護というものがほとんどなく、安全を脅かされているという感覚が常にあります。

私たちのゲイのファミリーメンバーにも、結婚する、軍務に就くなど当然と思われがちなことに対する同等の権利が与えられるべきです。

世の中にはゲイの人がいるというのが現実

このパンフレットでは、ヘテロセクシュアルという言葉は、自然に異性に惹かれる人のことを意味します。

ゲイ、レズビアンおよびホモセクシュアルという言葉は、自然に同性に惹かれる人のことを意味します。バイセクシュアルの人は自然に両性に惹かれます。

私たちの子どもは、その多くがホモセクシュアルという言葉より、「ゲイ」あるいは「レズビアン」といった名称を好みます。これは黒人の多くが「ニグロ」とか「ボーイ」といった言い方より「アフリカ系アメリカ人」または「ブラック」といった名称を好み、日系、ポーランド系、イタリア系アメリカ人が軽率で侮辱的な人種民族的ほめかしとなる言葉で呼ばれたくないのと同じです。

Footnotes:

¹Alfred C. Kinsey, et. al., *Sexual Behavior in the Human Male* (1948) and *Sexual Behavior in the Human Female* (1953)(W.B. Saunders)

²John C. Gonsiorek and James D. Weinrich, "The Definition and Scope of Sexual Orientation" (*Homosexuality: Research Implications for Public Policy*, Sage, 1991) p. 1-12.

³See statements by the American Psychiatric Association and the American Psychological Association.

⁴Alan P. Bell and Martin S. Weinberg, for the Institute for Sexual Research, "Kinsey," *Homosexualities: a Study of Human Diversity*, (Simon and Schuster, 1978)

⁵Linda D. Garnets and Douglas C. Kimmel, *Psychological Perspectives on Lesbian and Gay Male Experiences*, (Columbia University Press, 1993.)

⁶Dr. Alan P. Bell, senior author of the two-volume study, "Sexual Preference," Bell, Weinberg and Hammersmith, (Indiana University Press, 1981)

⁷R. R. Troiden (1989), "The formation of Homosexual Identities," *The Journal of Homosexuality*, 17, 43-73.

⁸Dr. Jack Weinberg, President of the American Psychological Association (Statement, 6 October, 1977)

⁹D.C. Haldeman (1994). "The Practice and Ethics of Sexual Orientation Conversion Therapy," *Journal of Consulting and Clinical Psychology*, 62, 221-227.

¹⁰American Medical Association, 1994.

¹¹C.J. Patterson (1992) "Children of Lesbian and Gay Parents," *Child Development*, 63, 1025-1042.

¹²P.J. Falk (1989) "Lesbian Mothers: Psychological Assumptions in Family Law," *American Psychologist*, 44, 941-949.

¹³Mary Koss, et. al., "No Safe Haven: Male Violence Against Women At Home, At Work, And In The Community," (American Psychological Association, 1994)